

9月の園だより

令和8年9月1日

目黒区立駒場保育園 園長

9月に入りましたがまだまだ残暑が続いています。先日1歳児クラスの子が登園し室内で遊んでいると、セミの声が聞こえてきました。すると遊んでいる手を止め「聞き耳」を立てています。保育士が「どこから聞こえるのかな」と声をかけると、急いで絵本コーナーへ行き小さい図鑑を手にして、セミのページを開き指さしながら「これこれ」と言って見せてくれました。そんな虫好きの子どもたちの姿を受け、クラスで「クワガタムシ」の飼育を始めました。すると子どもたちは興味津々で飼育ケースを囲んでいます。小さな図鑑と飼育ケースを往復するように視線を動かし「一緒」と言ったり、ツンツンと触ってみたいと思っています。そして「がたがたむし(クワガタムシ)」と嬉しそうに保育士を見上げながら言っていました。1歳児クラスの子どもたちは「言葉の意味」と「目の前の世界」がつながる、知的好奇心の黄金期にいます。だからこそ子どもたちが経験したことや思ったことを丁寧にやり取りしたいと思う場面でした。園には様々な年齢のお子さんがいます。どの年齢の子どもたちに対しても、「時機」を逃さず一人ひとりの姿を大切にしながらやり取りし、保育士も一緒に楽しみドキドキわくわくするような保育を展開していきたいと思っています。



引き渡し訓練

身体計測

〈今後の予定〉

☆運動会総練習

☆運動会

(2～5歳児クラス)

☆芋ほり遠足

(4・5歳児クラス)

〈お知らせ〉

乳児医療証の更新の時期が来ました。

お手元に届きましたら
コピーの提出を
お願いいたします。



～ひよこ組(0歳児)～

“僕たちのごはんまだかな”

扉の向こうのおいしい匂いに誘われた子どもたちでした。



～たんぽぽ組(2歳児)～



水遊び中に氷で遊んでいると、自分のバケツに入れていた氷が溶けてしまい「こおりがない、どこいっちゃった？」とバケツの中や周りを探していました。

～すみれ組(4歳児)～

「今日の果物なあに？」と保育士に聞くので

「小玉スイカだよ」と答えると・・・

「え？こまばスイカ？駒場保育園でとれたスイカなの？」と驚いていました。



夏の遊びを楽しむ中で子どもたちの成長を感じた姿を紹介します

ちゅうりっぷ組(1歳児)

ビニール袋の屋根に水を掛けると、袋にあたる水の音や水が流れ落ちる様子に気が付いて指をさしたり、手を伸ばしたりしています。屋根の下に入ることにはじめは緊張する姿もありましたが、保育士や友達の姿を見て“おもしろそう”と入っていきます。目の前で水が流れ落ちているのに自分は濡れないことを不思議に思いながらも、屋根を内側から触って水圧を感じたり端から顔を覗かせて外側の様子を確認したりと、いつしか夢中になっていました。興味の幅が広がり、目や耳、感触など五感で刺激を受けながら様々な感触遊びを楽しんでいます。



さくら組(3歳児)

プールでの“水かけっこ”では、最初は背中を向けていた子も慣れてくると前向きでしぶきを受けられるようになり、顔にかかるたびに手で拭いて歓声をあげる姿からは“気持ちいい”という思いが溢れています。また、友達の姿を見て「先生、見て」と言いながら水面に顔をつけたり、手を付いて足を伸ばしながら体を浮かせ、ワニのような姿勢で優雅に進んだりしていました。この夏の経験を通して子どもたちは、友達からたくさんの刺激を受け“やってみよう”と挑戦したり、一緒に笑い合い楽しみながら成長していました。



ひまわり組(5歳児)

プールが始まる前に、プールでどんなことをしたいか聞いてみると「イルカジャンプ」「もぐって水の中で目をあける」「水に顔をつけてみる」など一人ひとりが自らの目標を話していました。水に顔をつけることに躊躇していた子が、友達に「いけるよ(できるよ)」と励まされると「ひまわりぐみだしね」と言って挑戦していました。自分で立てた目標を達成すると自信もついてさらに意欲的になっていきました。互いに刺激し認め合って心も成長した夏でした。今後の活動にもこの意欲をつなげていきたいと思います。

